

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

# 公開実用平成 3- 98788

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U) 平3-98788

⑫ Int. CL<sup>9</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)10月15日

G 11 B 23/30  
B 65 D 85/57

B 7201-5D  
C 8921-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑭ 考案の名称 光ディスク収容ケース

⑮ 実 願 平2-6672

⑯ 出 願 平2(1990)1月26日

⑰ 考 案 者 佐 野 修 一 大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5番24号 日本電気ホーム  
エレクトロニクス株式会社内

⑱ 出 願 人 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社 大阪府大阪市中央区城見1丁目4番24号

⑲ 代 理 人 弁理士 増田 竹夫

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

光ディスク収容ケース

### 2. 実用新案登録請求の範囲

1. 光ディスクを収容したケースを電子機器へ挿入したときに光ディスクの情報を電子機器が読み取る光ディスク収容ケースにおいて、

ケースにメモリ及びこのメモリと電子機器とを接続するインターフェースを設けたことを特徴とする光ディスク収容ケース。

### 3. 考案の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

この考案は、光ディスク、例えばコンパクトディスク（CD）をパソコンやゲーム機、ワープロ等の電子機器に使用する場合、CDをケースに収容し、このケースごと電子機器へ挿入する光ディスク収容ケースに関するものである。

#### 〔従来技術〕

従来この種ケースとしては、パソコン用CD-ROMドライブに用いられるCD収容ケースが

1239

1

実開 3- 9878

知られている。このケースは開閉可能なシャッターを備え、ケースをCD-ROMドライブに挿入したときにシャッターが開いてCDに記録された情報を読み取るようになっている。また、ゲーム機等でケースを使用しないCDを使用、すなわちCDをCD-ROMドライブに挿入して使用するものも知られている。

〔考案が解決しようとする課題〕

従来のCD-ROMドライブに使用されるCDに対しては記録不可能であるため、ゲームの途中経過を記録しておくことはできず、さらに起動が遅いという不都合があった。光ディスクを使用する電子機器内にメモリを内蔵して、ゲームの途中経過を記録したり、高性能のCD-ROMドライブを使用することで起動を早くしたりすることはできるが、ゲーム機等では装置が大型化し、コスト面でも扱うCDの種類だけ内蔵するメモリが必要になる等問題であった。

そこで、この考案は、ケース自体にメモリを設け、ゲームの途中経過を記録したり、光ディスク

の立ち上げ作業を容易にしたりすることができ、コスト面での問題も解決した光ディスク収容ケースを提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

上述の目的を達成するため、この考案は、ケースにメモリ及びこのメモリと電子機器とを接続するインターフェースを設けたものである。

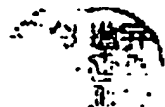
〔作用〕

この考案の光ディスク収容ケースを電子機器に挿入すると、メモリにCDの起動条件（例えばCDのOSがMS-DOS（商標）の場合、CONFIG. SYS）を記録しておき、メモリからこの起動条件を電子機器に供給すれば、立ち上げ作業が容易になる。また、ゲームの途中経過をメモリに記録しておくことで、ゲーム途中で終了しておき、次回に最初からやり直すこともない。さらに、CDに記録されたプログラムの基本部分（起動条件のみならず）をメモリで供給することで全体の処理速度が速くなる。

〔実施例〕

以下に、この考案の好適な実施例を図面を参照して説明する。

第1図に示す実施例は、光ディスク1を収容したケース10が開閉可能なシャッター2を備え、このシャッター2が、ケース10をゲーム機等の電子機器へ挿入したときに第2図に示すように開き、光ディスク1に記録された情報を電子機器が読み取るようになっている。このようなケース10にはメモリ3及びバックアップ用の電源4を設けると共に、メモリ3と電子機器とを接続するインターフェース5を設けてある。ケース10は、第3図に示すように本体部11と蓋部12から成り、シャッター2がケース10にスライド可能に設けてある。蓋部12には読取口6を形成しており、シャッター2が閉まった状態ではこの読取口6を塞いでいる（第1図の状態）。このようなケース10を電子機器に挿入するとシャッター2がスライドして読取口6を現出させる（第2図の状態）。第4図は第1図に示すように読取口6がシャッター2により閉じられた状態を示す斜視図で



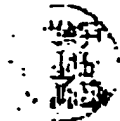
あり、第5図は第2図に示すように読取口6が現出された状態を示す斜視図である。

ケース10に設けられるメモリ3としてはSRAM、DRAM、EPROM等用途に応じて種類や記憶容量を選択することができる。また収容される光ディスクとしては8cmや12cm等のCDが好適である。このように構成された光ディスク収容ケースは、各種ゲーム機やパソコン、ワープロ、CDプレーヤ等の電子機器に用いることができる。また、メモリ3に記録しておく情報の種類も種々のものが考えられるとともに、RAMを用いれば、ゲーム途中の経過を記録しておくのみならず、ワープロで打った文章の記録等も可能である。

なお、ケース10に収容される光ディスク1は交換可能に構成することもでき、メモリ3も複数ケース10に設けても良い。なお電源4は必要に応じて設ける。さらに、シャッター2を設けない構造のケースの使用も可能である。

〔効果〕

以上説明したように、この考案によれば、ケー



スにメモリ及びこのメモリと電子機器とを接続するインターフェースを設けたので、メモリに記録しておく情報やメモリに途中経過等を記録しておくことで、起動時間を含め全体の処理速度が向上するとともに、途中経過が記録できて便利である。また、パソコン等の外部機器の接続をせずに、光ディスク収納ケースを使用する電子機器単独で途中経過の記録等ができ、コスト面で有利であるとともに、装置の大型化を避けられる。

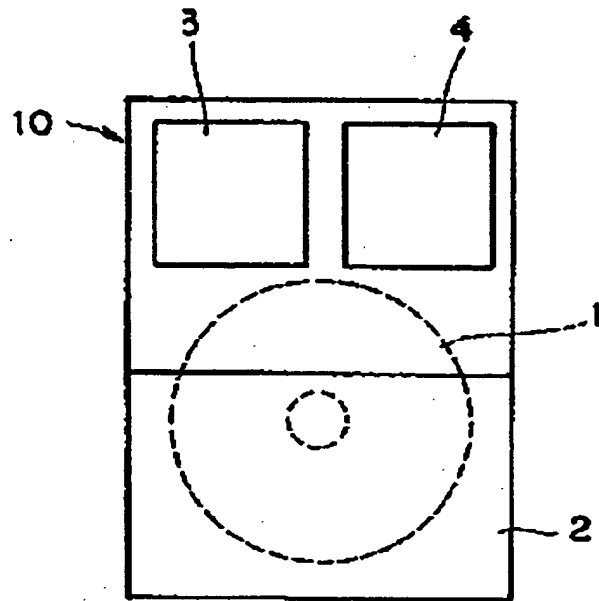
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はシャッターが閉まった状態の正面図、第2図はシャッターを開けた状態の正面図、第3図はケースの分解斜視図、第4図は第3図に示すケースを組立てたときのシャッターが閉じた状態の斜視図、第5図はシャッターを開けた状態の斜視図である。

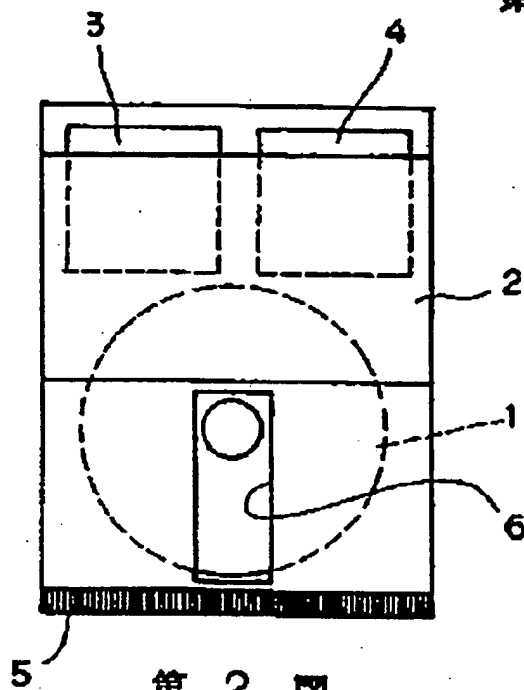
- 1 … 光ディスク、
- 3 … メモリ、
- 5 … インターフェース、
- 10 … ケース。







第 1 図



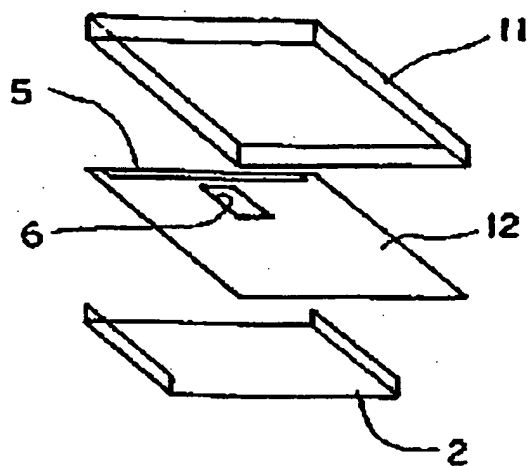
第 2 図

実開 3- 987

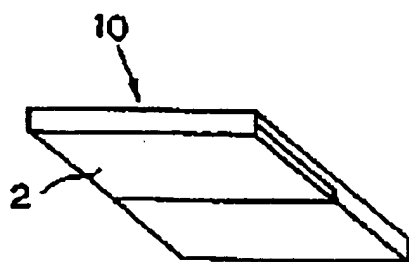
出願人 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社

代理人 増 田 竹 夫

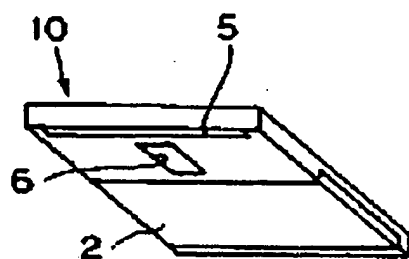
1245



第 3 図



第 4 図



第 5 図

1246  
実開 3-

出願人 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社  
代理人 増田 竹夫